



地域に求められる養護教諭養成の在り方

～保健室ボランティア「保健室園女(援助)隊」の活動を通して～

研究代表者 江寄 和子 (人間健康学部 総合健康学科 教授)

共同研究者 藤澤 政美 (人間健康学部 総合健康学科 教授)
 近藤 照敏 (人間健康学部 総合健康学科 教授)
 林 淑美 (人間健康学部 総合健康学科 准教授)
 磯田 宏子 (人間健康学部 総合健康学科 准教授)
 角田智恵美 (人間健康学部 総合健康学科 准教授)



1. はじめに

園田学園女子大学人間健康学部総合健康学科では、平成14年度から養護教諭の養成を開始し、平成20年度からは2コース制(養護・健康スポーツ)となり、経験値教育に根ざした豊かな人間性と実践力のある養護教諭の養成を行なっている。具体的な取組みの1つに「保健室ボランティア」の推奨がある。毎年、何人かの学生は、「神戸市スクールボランティア」など学校や学級に入り込むボランティアを行なっている。しかし、本研究で着目しているのは、養護教諭の指導の下で行なう「保健室ボランティア」である。総合健康学科が目指している、豊かな人間性と実践力のある養護教諭の養成にとって、「保健室ボランティア」は有効な教育方法になるのではないかと考えた。

さらに、本研究を地域貢献の視点から見ていく。尼崎市総合計画(2013-2022)では、取組みの方向性として、20の施策が提示され、その中に「【学校教育】教育の充実で子どもの生きる力をはぐくむまち」「【地域保健】いきいきと健康に安心して暮らせるまち」が示されている。これらを受け、心身

共に健やかな子どもの育成、生涯を通じて、健全な健康観の醸成を図ることは、尼崎市に於いても重要な課題である。「保健室ボランティア」を通して、学生が尼崎市等の学校に出向き、地域の子どもや保護者と望ましい関係を培うことで、尼崎市の【学校教育】【地域保健】の課題解決に貢献していきたい。そして、研究結果を「つながりプロジェクト」科目の教育実践に発展させていきたい。

2. 研究目的

- (1) 一部の学生が行なった「保健室ボランティア」の活動を通して、どのような力量を身につけたのか、その成果と課題を明らかにする。そして、「地域に求められる養護教諭」養成の在り方を検討する。
- (2) 「つながりプロジェクト」科目の教育実践へつなげる。

3. 研究方法

インタビュー調査を行い、KJ法で構造化した。

【学生の目線から】

- ①対象：養護教諭志望の学生3名(グループインタビュー)

②期日：平成 27 年 7 月 31 日（金）
10：50～11：30

③調査内容

ア. 保健室ボランティアを实践するまで

- * 保健室ボランティアをしようと思った動機・理由
- * 保健室ボランティアの日程・内容を決めた理由

イ. 保健室ボランティアを实践しながら

- * 学校にとって役にたったこと
- * 養護教諭、教職員、子どもたちへの貢献度
- * 小学校への貢献度
- * 自分が学んだこと
 - ・大学の学びとの関連性・自分で感じる、身についた力量・保健室経営・子ども理解・養護教諭観

ウ. 保健室ボランティアを終えて

- * 最も印象に残ったこと
- * 保健室ボランティアの成果と課題（限界）

【養護教諭の目線から】

①対象：養護コースに在籍する学生の保健室ボランティアを受け入れたことのある養護教諭 6 名（小学校 3 校・高等学校 1 校）とした。

②期日：平成 27 年 8 月

③調査内容

ア. 保健室ボランティアを受け入れる（依頼）するまで

イ. 保健室ボランティアを依頼しようと思った動機・理由

ウ. 保健室ボランティアを受け入れながら

- * 養護教諭、教職員、子どもたちへの貢献度
- * 小学校への貢献度
- * 養護教諭を目指す学生への影響として考えたこと

・養護教諭の職務や力量の観点から・保健室経営の観点から・子ども理解の観点から・養護教諭観の観点から

エ. 保健室ボランティアを終えて

* 保健室ボランティアを受け入れたことの成果と課題（限界）

* 望ましい保健室ボランティアの在り方

オ. 地域に求められる養護教諭とは

カ. これからの養護教諭に求められる力量

キ. 養護教諭養成に期待すること

4. 研究結果（省略—2/11 報告予定）

5. 「つながりプロジェクト」科目への発展（案）

【テーマ】学校保健と地域とのつながり

【学習内容】

- (1) 地域で創る子どもたちの健康
- (2) 学校保健と組織活動
- (3) 学校保健と地域連携
- (4) 学校保健委員会・地域学校保健委員会の現状
- (5) 地域における学校保健の役割や課題

【フィールド】 尼崎市内教育機関等（調整中）

本研究における「地域」とは：
 養護教諭として勤務した場合の、主に小学校校区・中学校校区を指すが、広く、幼稚園や高等学校の園児・生徒の通学する地域も含む。
 「保健室ボランティア」とは：
 各学校・園において、養護教諭の指導の下に、健康診断・健康相談・救急処置・保健指導の一部を行うボランティアである。